

ヨシケンニュース

YOSHIKEN NEWS

特集

momなないろ

認可保育園 (茨城県守谷市)

こころとからだを育む

色彩のハーモニー

有限会社
吉田建築計画事務所
一級建築士事務所

vol.

13

園長先生の声
「心も身体も健やかに」

認可保育園 momなないろ

園長 倉俣真理

園舎のモデルを探すなかで、ひと際目を奪われたのが、吉田建築計画事務所さんでした。弧を描いた園舎は、弊社が運営していた保育園「なないろナーサリー」の理念や方針に見事に当てはまり、それは子どもを愛情いっぱい抱きしめる母の姿そのものに映りました。新たに認可保育所として、この園舎で温かい日差しに包まれ、伸び伸びと過ごす子ども達を想像するだけで喜びが込み上げてきました。そして設計図が出来上がる前に「momなないろ」と命名し、子ども達にとってここが第二の家となり、心温まるようなそんな日々を送れることを確信しながら、完成を心待ちにしました。

■無料相談会のご案内 (要予約)

㈲吉田建築計画事務所では自然素材を用いた子供にやさしい園舎づくりをお手伝いいたします。園舎等の新築・増築・改築にあたり建築デザインをはじめ、建設コスト、補助金申請、手続きの流れ等に関するご相談、ご質問などお気軽にご相談下さい。

平日：午前 9:00～午後 6:00
土・日・祝日、平日夜間は事前に御連絡を頂ければ御対応いたします。



た。開園して半年が経ち、保育室の手洗い場やロッカー、絵本コーナー、ボルダリング、ホール、なないろトレッドマークの星モチーフやカラー等、私共の希望を一つずつ叶えていただいた園舎は、ほんの少しあめ色に染まった木の温かいぬくもりと共に子ども達の心豊かな毎日を支え、働く私達の心まで楽しませてくれています。つくばTX線から望む園舎は、子ども達と都心へと向かう親御さんを繋いでくださる場所として、また、ここを巣立った子ども達が電車から覗く園舎をいつまでも懐かしい思い出の場所として、いつまでも心の中に残っていくことでしょう。

心地よい空間の中で、子ども一人ひとりの五感を通して心も身体も健やかに育んでほしいと共に願いながら一つひとつ創り上げてこられたことが何よりも嬉しく思います。

配置図・平面図



建築データ

工事名称 / momなないろ
事業主 / 株式会社 トゥインクル
所在地 / 茨城県守谷市
用途地域 / 未指定
地域地区 / 市街化調整区域
主要用途 / 保育園 定員 77

敷地面積 / 1422.31㎡ (430.24坪)
建築面積 / 398.55㎡ (120.56坪)
延床面積 / 697.70㎡ (211.05坪)
構造・用途 / 木造2階建・保育園
耐火建築物 / 準耐火構造
竣工 / 2020年7月

有限会社
吉田建築計画事務所
一級建築士事務所

お電話
0120-922-416

ファックス
0299-56-3248

メールアドレス
info@iezukuri.co.jp

本社：〒315-0001 茨城県石岡市石岡 1-1-8 TEL.0299-56-3246 / つくば事務所：〒305-0047 茨城県つくば市千現 2-1-6 TEL.029-854-0203

吉田建築計画事務所

詳しくはHPをご覧ください



認可保育園「momなないろ」

こころとからだを育む 色彩のハーモニー



ゆるやかなカーブを描くファザードがメルヘンな世界観を表現

エントランス正面を見る

敷地と立地

敷地はTX線守谷駅から南へ約2.4キロに位置し、宅地化が進む守谷市内にあって、ここは市街化調整区域内のため、周囲に農地が点在する比較的静かな環境にあります。敷地南側の100m程先にTX線の高架があり、バルコニーからは電車の走る姿を眺めることができます。

シンボル性と環境との繋がり

手前が狭く奥に広がる旗竿型の敷地形状に対し、カーブを描いた建物形状は、視線を奥へ奥へと誘導します。

奥行感と変化のあるデザインは、保育の拠点としての「シンボル性」と「活気」、また地域の景観に馴染む両面を内包し、保育園と地域が良い関係に繋がる事を意図しました。

建物は道路からセットバックし、木々を植え、外部は木材や塗り壁などナチュラルテイストでトーンを抑えました。屋根も低くするなど、周辺環境との調和に配慮しました。

優しいアプローチ

エントランス前に設けた広めのポーチは、見上げると円形のバルコニーが屋根になっています。高低差のある敷地のための大きな階段は半円形とし、その階段を取り

囲むように大きくカーブしたスロープと木製の手すりが、優しく子供たちを優しく出向かえます。

色彩と空間のハーモニー

「こころ」と「からだ」を育むという保育テーマに沿い、子供たちが楽しくからだを動かせるよう、木造による暖かく開放性の高い空間とし、クライミングウォールも設けました。

家具や洗面カウンター、棚など細部のデザインも、子供の豊かな感性を育むよう工夫を凝らし、壁紙、タイルでアクセント色を用いました。

園長先生はじめ保育士の方々と打ち合わせを重ね、調和のとれた楽しい色彩となりました。

自然を感じる心地よい園舎

子供たちの体に優しい素材として、床や階段・家具に天然木材を使用しています。

大きくカーブした南側のバルコニーからは、自然光が差し込み、風が通り抜け、季節の移ろいを感じる事ができます。また、開放的な空間が人と人をゆるやかにつなげ、離れていても声が聞こえたりと、互いの気配を感じあい、繋がりを楽しむことができます。

自然と触れ合う体験や安全・安心な保育環境を通して、子供たちが健やかに成長できる園舎づくりを目指しました。



2階ホール

広い階段ホールは、風が流れトップライトから陽が差し込みます。通路としての機能に加え、異年齢の子どもたちが自由に遊び、主体的に行動する事で自然にコミュニケーションを学ぶ空間です。

Communication



2階吹き抜け

星のベンチ

Training

ボルダリングスペース

子どもたちは岩をどう握り、足を何処においてと頭をフル回転させます。時には友だちに「足を何処に置けばいい?手はどこ?」と相談します。子どもたち同士で、教える楽しさや優しさを自然と身につけます。



Relax



階段おどり場



エントランス

お迎えホール

温かみを感じるメルヘンチックな木組の空間です。木製階段の下は、子どもたちが大好きな小さなライブラリー。お家にいる様なリラックスした雰囲気、子どもたちは登園から帰る時まで笑顔いっぱいです。



吉田建築計画事務所
所長 吉田 良一
一級建築士

現代の子どもたちにとって、乳児期・幼児期の日々の生活の中で自然と触れ合うことは、五感を通じて豊かな感性や情緒が育まれるなど貴重な体験・経験の場となります。そうした生活を通して刻まれた記憶は、子どもたちのこれからの長い人生の中で、かけがえのない大切な思い出の場所となることでしょう。

また、木材は保温性や調湿作用が高く、免疫力を高める効果や風邪などの感染率を抑える効果など、子どもたちの健康面にも優れています。

「子どもの育つ環境として木造の園舎を見直す」。ぶつかったり転んだり日常の子どもたちにとって、一日の大半を過ごす園舎が、足や体に弾力性の高い素材（木造の床や壁）であることはとても重要なことです。

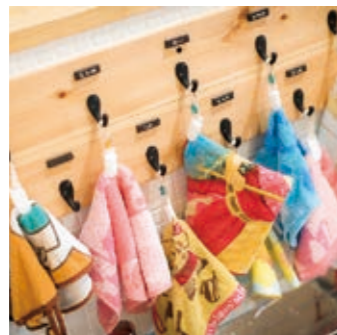
木造の園舎で のびのび 豊かに育つ



左上／円形のパルコニーとテラス空間。左下／多目的ホールと一体となったホール室内



園長先生の
手作り玩具・家具
Handmade Furniture
子どもたちが使うものを
手作りしています



多目的ホール
自然素材による開放的な空間で、子どもたちは寝転んだり飛びはねたりと、元気いっぱい身体を動かします。木の床は温かく弾力性に優れ、子どもたちの足を優しく守ります。また廊下側の引き戸を開くと一体的な利用が可能になります。



保育室
白い壁にナチュラルテイストの木組、とてもシンプルな空間にパステルカラーの扉がアクセントとなり、心地よい色彩の調和を奏でています。天井が高く広々とした保育室で、みんな揃って美味しいランチを頂きます。